

2023.11-16 No.926
©WPP(禁・無断転載)
AD・表紙デザイン:若山トシオ
DTP:ベイス、ナギ
©円谷プロ
©ウルトラマンブレイザー製作委員会・テレビ東京

【総力特集】

集え! 愛と平和のために輝き続けるウルトラの星へ

P14 円谷プロ60周年 大特集

特撮を原点に、空想作品の道を一筋に歩み続けて60年!
無限の夢を与え続ける円谷プロダクションの功績を60年間の
ヒーロー作品と豪華ゲストのインタビュー、
そして最新フィギュアとグッズで語るモノ・マガジンの
大好評ウルトラ特集第4弾!! ヒーローの祝典が今、幕を開ける!!

P15 ウルトラの言霊使い ふたたび 石坂浩二インタビュー

P17 大発見「ウルトラマン」貴重写真①
特別寄稿:桜井浩子

P18 スペシャル大放談 ウルトラマンブレイザー
佐野史郎×田口清隆 トーク・ウェイブ!

P22 【PICKUP 1】いくぞブレイザー!

P23 【PICKUP 2】その名はアースガロン

P24 【PICKUP 3】ガラモンの逆襲

P25 【PICKUP 4】そんなに人間を好きになったのか、
ウルトラマン。

P26 【PICKUP 5】二大怪獣東京を襲撃!

P27 【PICKUP 6】大宇宙の凶悪暴君

P28 これがウルトラサブスクだ!!

P30 祝60周年! 永久保存版
歴代ウルトラマン&円谷ヒーロー大図鑑

P52 大発見「ウルトラマン」貴重写真②

P53 ウルトラQ 緊Qビッグ対談
西條康彦×桜井浩子 with 河崎 実

P56 僕らを魅了するウルトラグッズ

P58 ひし美ゆり子 アンヌ最新写真集を語る

P59 撮影技師 鈴木清が語る『ウルトラセブン』秘話

P60 【PICKUP 7】怪獣たちが、こんにちは!

P61 【PICKUP 8】ファードランアーマー登場!

P62 【PICKUP 9】ゼットン大解剖!

P63 【PICKUP 10】輝くウルトラセブン

P64 【PICKUP 11】ニュージェネレーションスターズ見参!

P66 俺たちが好きなウルトラマンタロウBEST5
タカハシヒョウリ×ガイガン山崎

P68 『ウルトラマンブレイザー』第9話「オトノホシ」
ツクシホウイチ役 東儀秀樹インタビュー

P72 ヒーロー歴 51年と25年の友情
そして大切な同志への思い——。
高嶋圭二×吉岡毅志トークショーレポート

【特集】新調するならこの一足!

いまどきの傑作シューズ

082

この秋・冬は久しぶりに旅行やキャンプ、イベントなどのレジャーを予定している人たちも多くいることだろう。そこで重視したいのが、歩行を足もとで支えてくれる靴。通勤からアウトドアまで、歩くことをより快適にしてくれる傑作シューズをお届けする。



mono編集部モノ差し	006
う〜ん、うなるもの	010
ジン・デポ	012
新製品情報	074
In cucina con Matteo〜マッテオのキッチン〜	076
シロラボ	078
怪奇骨董新書箱	081
今月のもう一杯	094
織本知之の電子写真機恋愛	098
monoの大捜査線	100
たかみひろしのシネマショウ	109
モノ進化論	134
モノ・ショップ新聞	136
インフォメーション	138
バックナンバーリスト	139
次号予告	140
モノ・ショップジャーナル	141



【特集】モノを駆使して「健康なカラダ」を極めよう!

カラダ絶好調

110

年末が近づくこの時期、仕事で忙しい日々を過ごすうちに、つい自分のことを後回しにしてしまい、食事や生活習慣が乱れてしまった、なんて人も多いだろう。そんなあなたに贈るのが本特集! 自宅にいながら簡単に運動できるフィットネスギアを始め、筋活、スマートなフード、快眠ギア、腸活&免疫ケアなど毎日の習慣で無理なく、カラダの調子を好調に整えよう!

【特別企画】シリーズ第12回 お江戸お洒落

武士の小道具 「小物入」

126

文/高山宗東

殿様の前で、茶席で、会合の場で、あるいは戦場で……武士たちはスマートにふるまえるよう配慮した。そんな時の強い味方が、色々なかたちの「小物入」。形状や素材はシーンに合わせて千差万別。武士たちの小物入から、それが使われたさまざまな場面を妄想してみよう。

大発見『ウルトラマン』 貴重写真

円谷プロ
60周年

文/モノマガジン編集部

放送から57年が過ぎた『ウルトラマン』の撮影風景が蘇る驚異の貴重資料が発見された。助監督だった大平隆氏が自らのカメラで写した現場写真の数々だ。快活なヒロイン、桜井浩子さんの見たこともない表情の一枚も見つかった。ご本人が緊急特別寄稿する。



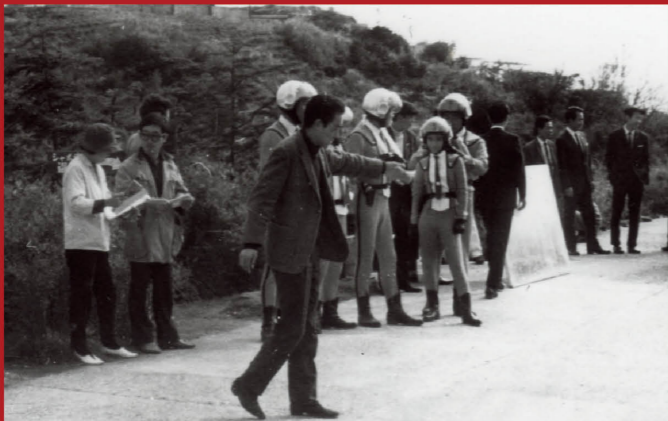
22話「噴煙突破せよ」の初めて見るメイキング。津沢彰秀さん演じるホソノ少年がジェットビートルを飛ばさせるスリル満点のシーン。

貴重写真は52ページにも紹介!

ロケ撮影。石井伊吉氏(現・毒蝮三太夫)が桜井氏のヘルメットを整えているようだ。和気藹々とした雰囲気。

桜井浩子
(さくらい・ひろこ)

プロフィールは53ページ参照。



桜井浩子記

この写真……

「いつ撮られたのか全く覚えがありません。でもヘアスタイルの髪留めがない処をみるとおそろしく実相相組かな……なぜなら実相寺さんには「髪留めを外して」の指示を貰った記憶があるので……他の監督からはそのような指示はなかったのだ。実相寺組の撮影中だった事は確かだと思います。それにしても、ここに映った桜井浩子は自分が撮影されているという意識がありませんね……全くの「素」になっています。科学特捜隊の衣裳なのでフジ・アキコとしての出番待ちだったのだと思います。」

「この頃は撮影がハードスケジュールであらためて『ウルトラQ』『ウルトラマン』を振り返ってどのよう



石坂浩二 INTERVIEW



「(前ページより) 当時は、レコーダーに録音したものをフィルムに入れて、さらに編集したものをVTRにするという複雑な作業でした。しかも放送技術の都合で低音部がカットされるので、放送を見たら自分の声とはいくぶん違って聞こえるように感じましたね。」

「喋り方についてのオーダーはあったのでしょうか？」

石坂 田谷一さんからは「もっと怖くできない?」「もう少し怖くして」と何度も言われて、最初の収録は3〜4時間かかりました。短いシーンにナレーションを合わせると早口になり、声が高くなって怖さが薄れてしまふんです。そんなところが一番の苦勞でした。」

「石坂さんのナレーションを怖がった子供達も多かったと思います。」

石坂 そう言っていたんだけど田谷一監督も喜ぶと思います。「ウルトラQ」で使われている言葉は、いま見直しても古びていないんですよ。脚本を書いた方々が天才的だったんだと思います。」

「これからの30分あなたの目はあなたの身体を離れて」という冒頭の決め台詞も印象的でした。」

石坂 収録では何度も何度も録り直して、最終的に「最後に5回録ってそのどれかを使うから」と言われたのを覚えています。たしか田谷一さんが考えたセリフだと思うのですが、企画の意図を短く的確に語られた名文句だと思います。あの頃すでに何かをしながらテレビを見ていた人があることに気がついてたんですよ。「こっちは一生懸命作っても、見るほうは横を向いて何かを食べながら見ている」ってね(笑)。だから「これから30分、画面から目を離さないように」というメッセージなんです(笑)。」

「『ウルトラQ』にどのような印象を感じましたか？」

石坂 どのエピソードにもメッセージ性がありましたね。例えば環境汚染や反戦なんかが根底に流れているんですが、見ている子供達にはわからない。でも、後になって見直すとそれがわかるんですよ。」

「『ウルトラQ』以前や『ウルトラマン』以降の特撮作品には、そういうメッセージ性があるものはあまりなかったんじゃないかな。飯島敏宏監督や脚本家の金城哲夫さんたちの活躍のおかげだと思います。」

「しかし皆さん、皆さんは彼を信じてしょう」と呼びかけるナレーションから、戦闘機も人間も一瞬にして消える怪事件が描かれる「2020年の挑戦」のゲーム人。」

「皆さん、皆さんが「これまでの作品とは違う作品を作る」「自分たちが時代を切り開いている」という意識が強かったんですよ。」

「『ウルトラマン』第19話までのナレーションも担当されましたが、『ウルトラQ』との違いは意識されましたか？」

石坂 『ウルトラQ』の時はあれだけ「怖くやれ」と言われていたのに、「ウルトラマン」では「明るく元気」と言われたんですよ(笑)。それで声の調子もマイナーな節回しにならないように意識しました。」

「第15話「恐怖の宇宙線」では子どもたちに語りかけるウルトラマンの声も担当されましたね。」

石坂 実相寺(昭雄)監督から「ウルトラマンを喋らせたくないから、喋っているようにやらずに、ウルトラマンの気持ちを読み解くようにやって」と言われたんですよ。おそらく実相寺監督と脚本の佐々木守さんの発想なのだと思いますが、すごく難しかったですね。」



指折りの傑作エンディングナレーションの「バルンガ」。「明日の朝、太陽をご覧ください。そこに輝いているのは太陽ではなく、バルンガかもしれません。」

「あらためて『ウルトラQ』『ウルトラマン』を振り返ってどのよう

石坂 だいぶ前に見直した時は自分のナレーションに「ちよっと味がないな」と思ったんですが、最近あらためて見て、あの当時の「現場の若々しさ」や「企画の若々しさ」には、私自身の若さが必要だったんだと感じました。もちろん直すべき部分や反省点もありますけど、それを補う若さがあったんです。『ウルトラマン』の後もずっと作品が続いているのはすごいんですよ。『大決戦! 超ウルトラ8兄弟』など近年の映画でもナレーションをやらせていただきましたけど、まさか何十年もたってまた自分がやることになるとは思ってませんでした(笑)。」

「石坂さんにとって『ウルトラQ』とは？」

石坂 『ウルトラQ』に参加したことで、作る人の熱量が作品につながるんだと学びました。田谷一さんも実相寺監督もみんな若くて、毎晩のように集まって宴会をやっていました。ある時、実相寺監督

「『カメラを屋上から落としたりという画が撮れるんだろう?』という言い出しなんです(笑)。するとみんなが「ケーブルをどうする?」「レンズは何かいいか?」と真剣に考え始めて、誰も止めようとしな(笑)。そんな人達が田谷英一さんと一さんのところに集まったからいい作品ができたんでしょうね。」

「60周年を迎える田谷プロへの想いをお聞かせください。」

石坂 物を作るのは人ですが、人が人も作るんですよ。田谷プロにはそれがありません。あそこで活躍した人達はみんな「アイツがあの作品を作ったなら、俺も負けられない」とお互いを刺激し、刺激を感じられる人達だったんです。だから60年を迎えた今の人達にも立ち上げ当時の人達の意思が活かされているのかを考えてもらいたいと思います。」

いしざか・こうじ
1941年6月20日生まれ。1958年にテレビドラマへエキストラ出演して以来、俳優としてテレビ、映画、舞台での活躍のみならず、脚本家としても数多くの作品に携わっている。プラモデル愛好家として有名で「ろうがんず」を主催。





「ウルトラマンブレイザー」とは?

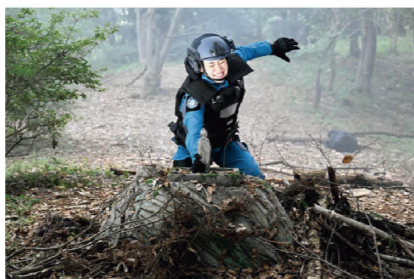
世界的な怪獣災害に対処する特殊怪獣対応分遣隊スカード(SKaRD)の面々と、その隊長でウルトラマンブレイザーに化身するヒルマゲントの物語。リアルなミリタリー描写とドラマ、そしてウルトラマンブレイザーの謎めいたキャラクターで注目を集めている。テレビ東京系で毎週土曜日朝9時放送中。YouTubeで見逃し配信も無料視聴可能。

独特のアクションと声はインパクト大。手にするのはガラモンの素材である宇宙金属で構成されたアイテム「チルソナイトソード」。

人間同士がちゃんとしてないから戦って起きるんでしょ、っていうのをテーマにしてみようかと。「コミュニケーションをテーマにします」っていうのは、最初に宣言したんですけど。もう本当に大きいところでは見られないもんね。1966年の「Q」や「マン」の時も、公害でしょ、そしてベトナム戦争が始まって、やっぱり小学生でもわかるくらい、ひしひしと感じてましたからね。それで「ゼブン」とか見えてるわけですから、宇宙人と戦ってるのもリアルなんだよね。その生々しさみたいなものが、「Z」以降のシリーズにもズンズン来るので、それはもう黙ってられないんですよ。やっぱり現実とフィクションは別なんだって思いたい人もあると思うんです。そういう芸能のあり方ももちろんあるんですけど、でもそれは現実を蓋してしまっただけで紙一重なんです。どうやって現実で生きてるんだから、無関係でいられるわ

激アツ!
超ブレイザー推し
佐野さんSNSコメント抜粋

- 14話「月下の記憶」
ノーコン? アンリ、強敵デルタンダルに命中してよかったね!!
- 12話「いくぞブレイザー!」
人間とウルトラマンの出会いから60年近くの時が経ち、今、また、新たな出会いの謎を知ること、この繰り返される洋の東西を…いや、あらゆる世界を超えた神話はどこまでも繰られ続けるのかも知れません。見届けるしかありません!!
- 9話「オトノホシ」
切ない。
こんなに苦しいラブストーリーだとは思わなかった…
格闘と音楽が溶け合うなんて…
東儀秀樹さん率いる楽団が素晴らしい、そりゃ、ホンモノだもんね~
※それぞれ元投稿はもっと長文です。



第5話「山が吠える」について、佐野さんはアサー王伝説や草薙の剣などの古今東西の神話や物語が重なるのでは?と考察する。上の写真、ドルゴを眠らせる剣状のご神体を挿すアンリのセリフ「眠ってれ!!」も気に入っている。

佐野 パンデミックに対して世界中が対応して落ち着いてきたところに戦争。それは見る方もリンクするし、やっぱりフィクションとしてだけでは見られないもんね。1966年の「Q」や「マン」の時も、公害でしょ、そしてベトナム戦争が始まって、やっぱり小学生でもわかるくらい、ひしひしと感じてましたからね。それで「ゼブン」とか見えてるわけですから、宇宙人と戦ってるのもリアルなんだよね。その生々しさみたいなものが、「Z」以降のシリーズにもズンズン来るので、それはもう黙ってられないんですよ。やっぱり現実とフィクションは別なんだって思いたい人もあると思うんです。そういう芸能のあり方ももちろんあるんですけど、でもそれは現実を蓋してしまっただけで紙一重なんです。どうやって現実で生きてるんだから、無関係でいられるわ

佐野 バレバレだけどね(笑)。でも

それは明らかな嘘だから、不思議と大丈夫なんだよね。子供の頃に熱中した特撮映画にも、戦争のことが入ってる。特撮は子供向けとって言うけど、そういう物の中にこそ、学校が教育で隠してきたことの何もかもが込められていて、そこから学んだ事の方がはるかに大きい。それがだんだん経済に翻弄されて、そういう魂が拡散しそうになっても、結局こうやって有事を目の当たりにすると戻ってくる。解決方法を一緒に考える問題提起をウルトラの世界だと可能にしてくれて、本当に見えて

い。なんだなんだ!? っていうところで今回の「ブレイザー」の予告を見た時に、「最初は正直ちょっと不安がよぎったんですけど、ウクライナの戦争が起きて、そんな時勢でSKaRD(スカード)が「守る」というのに特化したというメッセージが強く予告に出てたので、「どこまで行っちゃうの?」みたいに思ったんです。

田口 僕らも、やっぱりコロナとウクライナの戦争は「それもあるけど、こっちはこっちゃん」とは出来ないな、というのは強く思っていましたね。もともとハードなミリタリーをやろうというのは言っていたんですけど、そういうのが好きなだけに、なおさら何を描こうかっていうのはかなり考えました。それで今回、宇宙人が侵略して来るというよりは、あくまで

人間同士がちゃんとしてないから戦って起きるんでしょ、っていうのをテーマにしてみようかと。「コミュニケーションをテーマにします」っていうのは、最初に宣言したんですけど。もう本当に大きいところでは見られないもんね。1966年の「Q」や「マン」の時も、公害でしょ、そしてベトナム戦争が始まって、やっぱり小学生でもわかるくらい、ひしひしと感じてましたからね。それで「ゼブン」とか見えてるわけですから、宇宙人と戦ってるのもリアルなんだよね。その生々しさみたいなものが、「Z」以降のシリーズにもズンズン来るので、それはもう黙ってられないんですよ。やっぱり現実とフィクションは別なんだって思いたい人もあると思うんです。そういう芸能のあり方ももちろんあるんですけど、でもそれは現実を蓋してしまっただけで紙一重なんです。どうやって現実で生きてるんだから、無関係でいられるわ

田口 今、佐野さんがおっしゃったことは意識しています。怪獣がいて、50メートルの宇宙人が戦っているっていうのは、まさに圧倒的なフィクションじゃないですか。だからこそその裏でメッセージだったり、社会風刺を仕込んで、バレないっていうのがない。フィクションの世界ではどんなに戦争が起きても画面のこちら側で命を落とすことはない。でもそれと同じことをやれば、現実ではこうなるよってことは学ぶことができますよ。そういう大きな役割が、フィクションにはあると思うんです。

田口 ありがとうございます。フィギュアも推し代表・俳優

スペシャル大放談 / Talkwave!
ウルトラマンブレイザー

「ウルトラマンブレイザー」ファンの間で今密かな楽しみとなっているのが、俳優・佐野史郎氏がSNSに投稿するブレイザーの感想。そんなブレイザーの熱いウォッチャーである佐野氏と、メイン監督を務める田口清隆氏の対談が実現!

写真/熊谷義久 文/タカハシヒョウリ 対談コーディネイト/桜井浩子



監督・シリーズ構成

田口清隆

今日はよろしく
お願いします

ハマってます!
ブレイザー!

田口 直接お会いするのって、「ウルトラマンオーブ」に出演していただいて以来になっちゃいますかね。
佐野 ああそっか、7年ぶりかもしれないですね。なんだか、そんな感じはしないけど。
佐野 佐野さんが毎週SNSに投稿なさっている「ブレイザー」の感想はファンの間でも話題です。
田口 ありがたいです。でも正直なところ、ちょっとやっぱりうるさいですよ(笑)。
田口 いやいやいや! もうスタンプみんな読んでます。
佐野 コロナの影響で、本当に世の中止まっちゃった時に、ウルトラマンシリーズをもっと一回見直してみようって思ったんです。本当に好きなものとか…原点、原点に戻ったと思うんですよ。そうやって「Q」「マン」と見ているうちに、ちやうど「ウルトラマンZ」が始まった。田口監督とは「長髪怪獣ケハラ」で一緒に撮ったからのお付き合いなんですけど、ファンとしてもやっぱり田口清隆作品っていうのは気になるんですよ。
田口 ありがとうございます。
佐野 「Z」は、いきなりゴメスとが出てくるから、僕らの世代は大喜びですよ。Q から見直して、っていうタイミングで「Z」が始まって、化学反応が起きたんです。「Z」の時も全話感想を吐きました。「Z」を見終わって、「トリガー」「デッカー」と期待を裏切らな

ウルトラブレイザー!

熱い盛り上がりを見せている「ウルトラマンブレイザー」。ここでは、「ウルトラマンブレイザー」のこれから発売される関連商品について紹介しよう。

文／池田元氣
五十嵐浩司（TARKUS）

ウルトラマンブレイザー **まめ知識**
ヒルマ ゲントがウルトラマンブレイザーに変身する際に使用するブレイザーブレス。このコンセプトは、田口清隆監督が提示した「遺伝子の羅列構造」というキーワードからデザインされているとのこと。



PICK UP!
1

複雑なウルトラマンブレイザーのデザインを徹底再現。造形はもちろん細部のカラーリングや頭部のクリスタルも忠実に再現されている。

「ウルトラマンブレイザー」の第12話「いくぞブレイザー！」に初登場するチルソナイトソードが付属。

円谷プロ 60周年

S.H.Figuarts
ウルトラマンブレイザー 価格7150円

ウルトラマンブレイザーの塗装済完成品アクションフィギュア。全高約15cm。本体のほかに交換用手首が左右各5種、交換用のカラータイマー(赤)、チルソナイトソードが同梱している。11月発売予定。
©BANDAI SPIRITS お客様相談センター
☎0570-078-001

S.H.Figuartsならではの可動域の広さを活かして、ウルトラマンブレイザーの躍動感あふれるアクションポーズを再現できる。



第12話で登場したチルソナイトソードが付属!
放送日には必ずSNSで話題となっているという、注目の最新ウルトラマンシリーズ「ウルトラマンブレイザー」。そのウルトラマンブレイザーがアクションフィギュアの最高峰ブランドであるS.H.Figuartsから発売されることとなった。

円谷プロアクション造形部門「SS徹底監修のもとで立体化された「S.H.Figuarts ウルトラマンブレイザー」は、劇中のブレイザーと見紛うほどの造形に仕上がっている。頭部にきらめくクリスタルは、クリアパーツを使うことで再現。全身に入り組んだ赤と青のコントラストを徹底して細部まで色分けし、高級感のあるメタリックな質感をアピールしている。また武器としてチルソナイトソードが付属し、小さいパーツながら、こちらも細かな塗装が施されている。胸のカラータイマーは、交換パーツを差し替えることでブレイザーが活動困難になり、カラータイマーが赤く点滅する状態を表現することができる。ほかにも手首パーツが左右に各5種付いており、様々なポージングに応じて組み替えられるようになっている。君もウルトラマンブレイザーのテレビでの活躍を再現しよう!!

ら、こちらも細かな塗装が施されている。胸のカラータイマーは、交換パーツを差し替えることでブレイザーが活動困難になり、カラータイマーが赤く点滅する状態を表現することができる。ほかにも手首パーツが左右に各5種付いており、様々なポージングに応じて組み替えられるようになっている。君もウルトラマンブレイザーのテレビでの活躍を再現しよう!!



その名はアースガロン

文／池田元氣
五十嵐浩司（TARKUS）

さらに「ウルトラマンブレイザー」のもう1体のヒーローでもある、SKaRDの主力メカ・アースガロンが、S.H.Figuartsにラインナップ。フル可動フィギュアシリーズのS.H.Figuartsだからできるプレイバリューの高さを紹介しよう!!

これぞアースガロンの可動モデルの決定版!!
アースガロンは、「ウルトラマンブレイザー」第3話「その名はアースガロン」で初出陣する特殊怪獣対心分遣隊「SKaRD (Special Kaiju Reaction Detachment)」の怪獣型の主力巨大メカである。

このアースガロンが円谷プロアクション造形部門「SS徹底監修のもと、S.H.Figuartsに発売されること」が決定した。このS.H.Figuartsアースガロンは、劇中に使われている撮影用スーツのスキヤンデータをもとに原型を作っており、撮影用スーツと同様のプロポーションになっている。また関節部を覆っている箇所も映像の質感をしっかりと再現。また、全身のオ

レンジとグレイのラインは、細部に至るまで徹底的に塗分けられている。さらに首には真上を向けるほどの可動域があり、上半身も左右にスイング。尻尾も各関節に可動部が入っていて柔軟なポージングがとれるのだ。これぞアースガロンの可動モデルの決定版であり、同じS.H.Figuartsのウルトラマンブレイザーと必ず並べ

PICK UP!
2

S.H.Figuarts
23式特殊戦術機甲獣
アースガロン

価格9900円

アースガロンの塗装済完成品アクションフィギュア。全高約16cm。本体のほかに交換用手首が左右各3種、交換用目左右各4種、アースファイア再現用パーツ、交換用胸部パーツが同梱している。12月発売予定。
©BANDAI SPIRITS お客様相談センター
☎0570-078-001

アースガロンの口には付属の専用パーツを口内に取り付けることでアースファイアを再現できる。

目を差し替えることで、劇中の「ぐるぐる目」など4種類の表情をつけられる。かかどに付いているシリンダーパーツは、足首の動きに連動するギミックを搭載。

アースガロン **まめ知識**

アースガロンを操縦して怪獣災害に立ち向かうSKaRD。その彼らが着る隊員服の両肩に付いているマークは、アースガロンの瞳をイメージされているのだ。またアースガロンは、設定ではなんとマッハ4で走行することができる。



撮影用スーツのスキヤンデータを使って、造形されているため立ち姿は、まるで本物と見紛うほどだ。



尻尾のハッチは開閉可能で、展開して誘導弾発射シーンを再現できる。また胸部の差し替え用のパーツでcockピットのハッチが開いた状態になる。



BLUE OVER SHV3 MC

価格3万3000円

国内のすぐれた製靴技術の継承を目的に、2011年にスタートした国産スニーカーブランド。フルレザーならではの質感やクラシカルなデザインが魅力的な本作だが、それ以上に注目すべきなのがソール交換機能。アッパーとソールを接着剤で貼り合わせる従来のスニーカーと違い、紳士靴などと同じマッケイ製法で作られているからソールの交換が可能！いつでも愛着をもって履き続けることができる。

◎ブルーオーバー ☎06-6447-6030

従来の常識を覆すソール交換機能



紳士靴に見られるマッケイ製法で作られているためソールが交換できる。



MADRAS モデロ COVEROSS スニーカー DM3341

価格1万7600円

創業は1921年、イタリア・ヴェネツィア郊外の街パッサノに誕生したシューズメーカーだ。本作は同社が展開するブランド「モデロ」に投入された新しいスニーカーのシリーズ。特筆すべきは世界で初めて COVEROSS 加工を採用したこと。COVEROSS加工とは、30種類以上の機能を付与できる加工技術。その中から、より快適に、より清潔に使用できる6つの機能を厳選して搭載した。履くたびにその恩恵が実感できるはず。

◎マドラス ☎0120-30-4192

職人技が最高の履き心地を約束



SPINGLE MOVE SPM-1034

価格2万7500円

職人の街、広島県府中市に拠点を置く、注目のドメスティックシューズブランド。新たに開発されたローカットデザインを採用し、足を入れた時の心地よさを徹底追求しているのが特長だ。実際、足裏の形状にジャストフィットする独自開発のラテパッドインソールや、足当たりのやさしい履き口のパッドなど、心地よい工夫が満載。内羽根と外羽根を合わせたようなクラシカルなデザインも好印象だ。

◎スピングルカンパニー-東京企画室 ☎03-3871-2171

さまざまなスタイルに品良く馴染む



LE COQ SPORTIF ラ ローラン LE

価格9900円

1882年、フランスに設立された老舗スポーツブランド。本作は定番のコートスタイルにして、ブランドのアイコン「ラ ローラン」のレザーモデル。アッパーには上質な天然皮革を採用。プレーンで品の良いデザインだから、どんなスタイルにも馴染みやすい。ラバーとEVAを適切に配置したアウトソールに、通気性とクッション性を兼ね備えるオーソライツのインソールで、履き心地も文句なし！

◎デサントジャパンお客様相談室 ☎0120-46-0310

80年代のモデルを再構築

LE COQ SPORTIF LCS ヴィテス

価格1万4500円

近年のトレンドである「レトロランニング」を踏まえ、80年代のアーカイブモデルを再構築した。当時のディテールを盛り込んだクラシカルなルックスを基本にしなが、ミッドソールとアウトソールの中足部を削り込み立体的な造形にすることで、いまどきのトレンド感も付与。消臭性、通気性、クッション性のあるポリウレタンのインソールや、フィット感にすぐれたEVA製ヒールカップの採用など、コンフォートな履き心地にもこだわった。

◎デサントジャパンお客様相談室 ☎0120-46-0310



PATRICK ラルディ

価格1万7600円

1892年、西フランスに創業した老舗ブランド。歴史あるブランドらしく、過去のアーカイブから2004年と1980年代に発表した異なるふたつのモデルを参照、それぞれのソールを合体させて生まれたのがこのシューズ。洗練されたデザインもさることながら、グリップ性能にすぐれたソールや撥水性や防汚性を備えたナイロン×ペロアのアップパーなど、機能面にも抜かりがない。デイリーに活躍してくれる一足だ。

◎カメイ・プロアクト ☎03-6450-1515

過去アーカイブの2モデルを融合

異なる時期に発表したふたつのモデルの意匠を合体させたソール。グリップ性にもすぐれる。



ALLBIRDS ウールランナー アップミズル

価格2万円

機能やデザインはもとより、サステナビリティにも徹底してこだわることから、米「タイム」誌が「世界一快適なシューズ」と評したサンフランシスコ発のシューズブランド。そのプロダクトを特長づけているのが、本作にも採用されている高品質なメリノウールのアッパー。柔らかく肌触りが良いというウールの利点はそのままに、フッ素不使用の撥水コーティングを施しているため、突然の雨にも慌てないで済む。

◎オールバーズ ☎0800-080-4054

ウールなのに撥水、だから雨に強い！

街に映える最新スニーカー

機能こそローテクからハイテクまで種類豊富で目移りするほどだが、大人が履くべきスニーカーとなれば、やはりデザイン・カラーともに落ち着いた印象のものを選びたい。秋冬の装いを格上げする最新スニーカーを厳選してご紹介！



COLUMBIA ハイジージャーニー ウォータープルーフ

価格1万5400円

世界最大規模のアウトドアスポーツウェアブランド。創業は1938年、米国オレゴン州に誕生した。本作はアウトドアを始め、さまざまな場面で活躍が期待できる防水シューズ。高級感のあるオーセンティックレザーをアッパーに採用。また、クッション性と快適性にすぐれた素材EVA配合のミッドソールは、靴内の包み込むようなフィット感と相まって長時間の歩行でも疲れにくい。

◎コロムビアスポーツウェアジャパン ☎0120-193-803

活躍場面が幅広い防水シューズ

いまどきの傑作シューズ



カラダ
絶好調



罪悪感なく飲める
エナジードリンクを発見！
トゥーフーズ/トゥーエナジー
価格1490円(6本セット)
ゼロカロリー、ゼロシュガー、カフェインフリーの3つのゼロを達成した植物性由来のエナジードリンク。マンゴー葉乾燥エキス配合。甘味と酸味のバランスや複数種類配合した果実選定で、爽快感とパンチの効いた味わいを実現。
◎トゥーフーズ
https://2foods.jp/



ブルボン/ MITASEココア味
オープン価格(実勢165円前後)
「日本人の食事摂取基準(2020年版)」で設定された33種類の栄養素をバランスよく配合した「ばばっとボケ食」。忙しいときも手軽に美味しく栄養補給ができる。やさしいココア味の生地に練り込んだ大豆バフのサクサク食感も◎だ。
◎ブルボン ☎0120-28-5605

仕事で忙しいときの
栄養補給にぜひ！

いますぐ食べたい
超ヘルシーカレーパン！
ベースブレッド/
ベースブレッドリッチ 価格230円
ベースブレッドカレー 価格260円
1食に必要な33種類の栄養素がすべてとれるスマート完全栄養食の「ベースブレッド」から話題の2品をピックアップ。「リッチ」は全粒粉をはじめとする自然由来の原材料に加え、精白した小麦粉の配合でふっくらもちもちとした口あたりを実現。一方、生地のもっちり感と風味がアップし中身のカレーも33%増量するなどうれしいリニューアルが施された「カレー」は、揚げないヘルシーなカレーパンでありながら、ガツンと響く味わいで満足感の高い人気アイテムだ。
◎ベースフード https://basefood.co.jp



秋の味覚といえば
焼き芋の定番でしょー！
マイプロテイン/Impact ホエイ
プロテイン 焼き芋フレーバー
価格5190円(1kg)
秋の味覚でタンパク質補給できる焼き芋フレーバーのプロテイン。なめらかな口あたりのなかに1食あたり18gのタンパク質を含有。毎日のたんぱく質摂取はもちろん、日頃のトレーニングでの目標達成もサポートしてくれる。
◎マイプロテイン https://www.myprotein.jp/



1000キロカロリー
未満のプロテイン
マイプロテイン/
ポップ ロール 焼き芋フレーバー
価格3290円(1箱12本入り)
空腹時に最適なプロテインのおやつ。歯ごたえがありつつやわらかな焼き芋フレーバーのプロテイン生地のなかにねっとりとした贅沢なフィリング入り。キャラメルフレーバーのコーティングにオレンジ色のスプリングルがトッピング。
◎マイプロテイン https://www.myprotein.jp/



1食でたんぱく質40gとれる
完全栄養食
ヒュエル/
ヒュエル ブラックエディション
価格5500円(17食分入り)~
1食分を400キロカロリーに抑えつつ、タンパク質40gをはじめ1日に必要な栄養素を摂取できる完全栄養食。乳製品や人工甘味料不使用かつ、動物性由来成分フリー、GMOフリー、グルテンフリーと人にも環境にもやさしい。
◎ヒュエル https://jp.huel.com/

絶好調男

絶好調男になるためには毎日の食生活も大事。人間が健康を維持するために必要な栄養素をすべて含んだ注目の「完全栄養食」や植物性由来のたんぱく質を採用した食品など、手軽な栄養食を活用して日々の健康管理に役立てたい。
文/下川冬樹



カラダが悦ぶ
植物由来の
サラダチキン
マイセンファインフード/
植物生まれのグリーンチキン
ベッパー/ハーブ 価格各350円
ベッパーバータイプ/ハーブタイプ 価格各250円
日本初の植物性100%のサラダチキン。植物性原料から肉のような繊維感と旨みを実現。袋を開けてそのまま食べられる手軽さで、植物性たんぱく質はもちろん、植物繊維やインフラボンなどカラダが喜ぶ栄養を摂り入れることができる。
◎マイセンファインフード ☎0120-81-0932



日清食品/
完全メシ ハヤシ
メシ デミグラス
価格429円
まろやかでコクのあるハヤシライス。玉ねぎを炒めたような香ばしさと甘みに、トマトのほのかな酸味、ビーフの風味をプラスしている。たんぱく質、脂質、炭水化物のほか、ビタミン、ミネラル、必須脂肪酸もバランスよく整っている。
◎日清食品 ☎0120-923-301

トマトのほのかな
酸味とビーフの風味がキモ



栄養とおいしさのバランスを
追求したあつたか
ポタージュジュ！



日清食品/完全メシ
トマト
クリームポタージュ
価格321円
まずは33種類の栄養素とおいしさの完全なバランスを追求した日清食品の「完全メシ」から3品を紹介。イチオシがこちらのトマトがとけこんだようなろみのある濃厚ポタージュ。トマトのマイルドな甘味と酸味を堪能したい。
◎日清食品 ☎0120-923-301



日清食品/冷凍 完全メシ
炭火焼風味鶏つくねの親子丼
冷凍 完全メシ 5食セレクトセット 価格4305円
※本商品は「冷凍 完全メシ セレクトセット」のひとつです。
「冷凍 完全メシ」の新メニュー。ふんわりたまご炭火焼風味の鶏つくねを使用した特製の親子丼。鰹と昆布のダブルだし旨みをきかせたつゆは、ふっくらご飯との相性も抜群でバクバク食べられること間違いなしだ。
◎日清食品 ☎0120-923-301



の スマートなフード!

毎日の食品から
健康を考えよう!



キッコマン/SoyBody+MCT
価格165円
MCT(中鎖脂肪酸)が体脂肪を減らす(※BMIが高めの方)「SoyBody+MCT」は、豆乳をベースにした植物性たんぱく強化飲料。大豆由来の植物性たんぱく質が約10gとれ、豆乳仕立てのおいしさで毎日飲み続けられる。
◎キッコマンソイフーズ ☎0120-1212-88



豆乳プラスMCTオイルの
ヘルシーバディだ!



MISOVATION
価格3974円(4食セット)~
1万1404円(12食セット)

これが、日本の完全食。
次世代型の味噌汁が登場!
栄養士が開発した味噌汁テイストの完全栄養食。1食でなんと19.7gのたんぱく質など31種類の栄養素を摂取できる。1食置き換えになるボリューム感で、ごろっとした15種類の具材を瞬間冷凍。毎月味噌の種類を変えサブスクで提供。
◎MISOVATION
https://misovation.com/



キッコマン/
大豆麺 あんかけ焼きそば
価格335円
大豆を50%ブレンドした高たんぱく・低糖質な麺(麺には小麦も使用)に、常備野菜やカット野菜をひとつプラスするだけで、手軽に満足感のある1食に仕上がる「あんかけ焼きそば」ソースをセット。カラダを気にして麺類を控えていたあなたに最適だ。
◎キッコマン ☎0120-120-358



Publisher
今井今朝春
Keshaharu Imai

Editor-in-Chief
前田賢紀
Takanori Maeda

Deputy-Editor
関谷和久
Kazuhiisa Sekiya

松崎薫子
Kaoruko Matsuzaki

Editor
小野正章
Masaaki Ono

大谷 暁
Satoru Otani

片岡静香
Shizuka Kataoka

加藤文晶
Fumiaki Kato

友井健人
Taketo Tomoi

竹本 泉
Izumi Takemoto

荻崎 大
Dai Yabuzaki

Directing Editor
土居輝彦
Teruhiko Doi

Art Director
若山トシオ
Toshio Wakayama

Designer
フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics

伊藤たまお
Tamao Itou

Staff Photographer
鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda

青木健格
Takenori Aoki

Advertising Director
坪井一雄
Kazuo Tsuboi

鈴木敏弥
Toshiya Suzuki

上田秀一
Shuichi Kanda

Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP
Base, Nagi

ワールドフォトプレス総合サイト

モノ・マガジンweb に遊びに来てね!
<https://www.monomagazine.com/>



SNSでも新鮮情報発信中! フォローしてね!

<https://www.facebook.com/monomagazine1982/>

<https://twitter.com/monomagazineweb/>

スマホでもモノ・マガジンが読める

「dマガジン」「楽天マガジン」「ビューン」をチェック!

NEXT

次号予告

特集 巻頭企画 総力特集

地球上にはこのクルマでしか走れない場所がある!

ランクル・イズ・ベスト

1951年の登場以来、世界の過酷な環境で鍛えられてきた陸の王者トヨタのランドクルーザーシリーズ。いつの時代もシートの先頭を走り、追われる立場のクルマとして進化を続けてきたが、そんなランクルを丸裸にするべく、本特集ではメーカー目線・ユーザー目線・編集部目線など多角的な視点でその魅力を徹底的に深掘り!

「あつたかい」がイイね

乗り切れ! 暖かモノ

今年の冬は暖冬傾向と予想されているが寒さ対策は必須だ。加えて光熱費の高騰もあり暖房器具を買い替え節電対策をしたり、高性能なウエアを新調するなどして備えたいところ。今号では最近人気の空気を乾燥させないヒーターやバッテリーで発電するサーマルギア、さらにアンダーウエアや飲料、グッズなど厳選して紹介する。

演奏するドキドキを気軽に楽しもう!

レッツ・エンジョイ! 楽器ライフ

新型ウイリスの影響でうち時間ができたことで、楽器をやってみようというファン層が増えた。行動制限も明けた今、楽器演奏の魅力はすっかり定着した感がある。そこで、この流れをさらに拡充すべく、デイリーライフのなかで楽器演奏を楽しめるイマドキのインストゥルメンツをピックアップ! 明日からあなたもミュージシャン!

■うーん、うなるモノ

■モノ進化論

■mono編集部モノ差し

■monoの大捜査線

モノ・マガジン12-2特集号 NO.927

11月16日(木)発売 特別定価 750円(税込)

●モノ雑誌のバイオニア 毎月2回(2日・16日)発売

mono

発行人●今井今朝春

編集人●前田賢紀

発行所●株式会社ワールドフォトプレス

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1

アズ阿佐ヶ谷

TEL:03(6383)2331 [編集部]

03(5929)7682 [メディアビジネス部]

03(6383)2390 [販売部]

FAX:03(6383)2583 [編集部]

03(6304)9443 [メディアビジネス部]

03(6383)2574 [販売部]

印刷所●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。

●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。実勢価格は編集部調べの価格です。